



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月2日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東  
コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久  
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務・IR部長 (氏名) 遠山 邦彦 (TEL) 059(226)1193  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月6日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	17,450	2.8	603	29.5	696	16.4	444	18.7
2023年2月期第2四半期	16,978	1.0	465	△27.8	598	△12.3	374	△15.7

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 555百万円(57.6%) 2023年2月期第2四半期 352百万円(△16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	118.26	—
2023年2月期第2四半期	99.65	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	28,480	13,090	43.9
2023年2月期	27,505	12,607	43.8

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 12,506百万円 2023年2月期 12,049百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年2月期	—	20.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,720	17.2	1,210	29.4	1,300	5.9	830	9.3	220.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	4,070,000株	2023年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	311,873株	2023年2月期	312,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	3,757,296株	2023年2月期2Q	3,756,266株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年8月31日)における我が国の経済は、経済活動の正常化や企業の旺盛な設備投資意欲を背景に景気は緩やかな改善がみられる状況にありました。しかしながら、個人消費は物価高が重石となり、サービスを主体にその回復ペースは鈍化している模様です。一方、国外に目を向けると、金融引き締め効果による景気の下押し圧力が続くと思われております。国内の物価上昇も、当面高い伸びが続くと予想され、国内景気回復のペースは緩やかなものに止まるとみられております。

このような状況のもと、当社グループは足元の事業を取り巻く大きな環境変化に迅速かつ臨機応変に対応するとともに、患者さま、利用者さまの安全確保にも引き続き注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。

2023年4月19日に公表しました、「西部沢井薬品株式会社との医薬品・医薬部外品等の卸売事業を主体とする事業統合に向けた基本合意」のとおり、2023年9月1日を効力発生日として、当社の連結子会社であります株式会社メディカル光と西部沢井薬品株式会社およびその子会社であります株式会社沖縄アメルを対象事業を統合することに、同年7月31日付で最終合意し、事業譲渡契約および株式譲渡契約を締結しました。また、同日付で株式会社メディカル光は、西部沢井薬品株式会社の関連会社の位置付けにあり株式会社博愛中井調剤薬局の株式の一部を取得することに関して、同社株主との間で株式譲渡契約に関する基本合意書を締結しました。

足元の事業環境は、急激なインフレに直面すると同時に、円安の為替要因によるコストの上昇が物価を押し上げている状況にあります。当社グループが展開する「調剤薬局事業」「ヘルスケア事業」「医薬品卸事業」の3つの事業は、いずれも公定価格が基本となっております。価格転化が容易ではない中での物価高騰は大きな打撃を被ることになります。

一方で医療や介護を取り巻く環境は、団塊の世代の方々が全て75歳以上となる2025年には、75歳以上の人口が全人口の約18%となり、2040年には65歳以上の人口が全人口の約35%となると推計されています。今後、国民にとって医療・介護は極めて重要となり、国民が安心できる持続可能なサービスの実現を目指さなければなりません。

こうした状況下、今般の医薬品卸事業の統合により、当該事業は売上高100億円を上回る水準となり、「調剤薬局事業」「ヘルスケア事業」と規模の面で劣らない3極体制を確立いたしました。また、グループ全体の拠点網は東海地区・西日本エリアを主体に1道2府20県の地域に拡大することになりました。今後は当社グループの事業特性や事業基盤を最大限に発揮していくことで、足元の経営課題に着実に取り組んでまいります。

このように、当第2四半期連結累計期間は、今後の当社グループの事業基盤の更なる強化に向け各種対応に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高17,450百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益603百万円(前年同期比29.5%増)、経常利益696百万円(前年同期比16.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は444百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、1店舗当たりの売上増の強化を図るべく、患者さまが来店し易い店舗体制の整備に注力していきながら、地域連携薬局の拡大にも努めてまいりました。薬局へのご来店が困難な患者さまのニーズに対しても、子会社(株式会社ヘルシー薬局)を主体に、取り組みを拡大しております。こうした活動を通して患者さま一人ひとりの満足度を高め、地域の皆さまに選ばれる薬局づくりを行っております。

当第2四半期連結累計期間は、既存店舗の処方箋応需枚数が前年同期比増加しました。薬剤料単価は薬価改定の影響もあり前年同期比低下しましたが、調剤薬局事業全体の売上高は、前年同期比増収となりました。

この結果、売上高11,861百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益779百万円(前年同期比5.9%増)となりました。なお、当第2四半期末における当社グループの調剤薬局は合計94店舗となっております。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、施設における行動制限を一部緩和しておりますが、基本的な感染対策は当面継続し、介護サービス利用者さまが安心して施設を利用できる体制を維持するとともに、介護人材の安定的な確保を優先し、介護サービスの質の向上に取り組んでまいりました。

こうしたなか、居住系介護サービスおよび在宅系介護サービスともに、需要は緩やかながら回復基調にあります。施設運営に不可欠な光熱費の高止まりや物価高への対応等、引続き課題は残るものの、今後も、快適に過ごせる介護サービスの実現により入居率と稼働率の向上に努めてまいります。

この結果、売上高3,899百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益110百万円(前年同期比219.3%増)となりました。なお、当第2四半期末における当社グループの居住系介護サービスは、合計42施設(居室数1,417室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所22ヶ所、居宅介護支援事業所18ヶ所、小規模多機能ホーム10施設、福祉用具レンタル・販売5拠点、訪問介護事業所9ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

## (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2023年4月以降、原価率の急激な上昇に直面し、収益環境は一変しております。従前の営業活動の延長では、これまでと同水準の利益率を確保することが困難な状況にあります。こうしたなか、当第2四半期連結累計期間において豊橋営業所や滋賀営業所を愛知営業所、三重営業所にそれぞれ集約し、営業活動の強化と効率化を図ってまいりました。

この結果、売上高1,598百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益33百万円(前年同期比72.6%増)となりました。(内部売上を含む売上高は2,068百万円となり、前年同期比で9.0%増加しました。)

## (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高91百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益66百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益80百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として472百万円を消去するとともに、全社における共通経費として387百万円を計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は28,480百万円となり、前連結会計年度末と比較して974百万円増加いたしました。

流動資産の合計は13,982百万円となり、前連結会計年度末と比較して743百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が429百万円、現金及び預金が296百万円増加したこと等によるものです。固定資産の合計は14,497百万円となり、前連結会計年度末と比較して231百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が255百万円、有形固定資産のその他(純額)が141百万円、投資その他の資産のその他が137百万円それぞれ増加したものの、建物及び構築物(純額)が193百万円、のれんが97百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は15,390百万円となり、前連結会計年度末と比較して492百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が322百万円、流動負債のその他が137百万円、未払法人税等が93百万円それぞれ増加し、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が125百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は13,090百万円となり、前連結会計年度末と比較して482百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が369百万円、その他有価証券評価差額金が88百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同現物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して292百万円増加し6,545百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで847百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで338百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで217百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結累計期間における、各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、847百万円(前年同期比351百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益775百万円、仕入債務の増加315百万円、減価償却費及びのれん償却額396百万円があったものの、売上債権の増加390百万円、法人税等の支払233百万円があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、338百万円(前年同期比46百万円の支出増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入422百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出405百万円、有形固定資産の取得による支出154百万円があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、217百万円(前年同期比946百万円の支出減少)となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金125百万円の純減少、配当金の支払75百万円があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、現時点において2023年7月31日に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しました数値から変更はありません。今後、修正が必要な事象が生じた際には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,443,169	6,739,978
売掛金	5,009,077	5,438,722
商品	1,228,229	1,298,617
その他	561,431	507,927
貸倒引当金	△2,388	△2,388
流動資産合計	13,239,518	13,982,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,506,241	5,312,351
土地	3,762,342	3,762,342
その他(純額)	318,822	460,466
有形固定資産合計	9,587,406	9,535,161
無形固定資産		
のれん	1,296,414	1,198,902
その他	182,529	178,605
無形固定資産合計	1,478,943	1,377,507
投資その他の資産		
投資有価証券	1,320,428	1,576,124
敷金及び保証金	1,047,449	1,039,959
その他	832,031	969,061
投資その他の資産合計	3,199,908	3,585,144
固定資産合計	14,266,258	14,497,813
資産合計	27,505,776	28,480,670
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	45,553	38,345
買掛金	3,393,285	3,715,968
短期借入金	170,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	2,694,980	2,539,144
未払法人税等	189,206	282,430
賞与引当金	222,824	251,843
その他	738,919	876,561
流動負債合計	7,454,768	7,894,294
固定負債		
長期借入金	6,062,910	6,072,751
リース債務	189,717	177,034
退職給付に係る負債	802,137	823,652
その他	388,400	422,666
固定負債合計	7,443,165	7,496,106
負債合計	14,897,934	15,390,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,081,272	1,081,749
利益剰余金	10,557,964	10,927,193
自己株式	△539,830	△537,933
株主資本合計	12,016,406	12,388,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,858	116,318
退職給付に係る調整累計額	5,068	2,534
その他の包括利益累計額合計	32,926	118,852
非支配株主持分	558,509	583,407
純資産合計	12,607,842	13,090,270
負債純資産合計	27,505,776	28,480,670

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	16,978,990	17,450,480
売上原価	15,340,148	15,712,273
売上総利益	1,638,841	1,738,206
販売費及び一般管理費	1,173,196	1,135,152
営業利益	465,645	603,054
営業外収益		
受取利息	678	705
受取配当金	20,422	24,851
助成金収入	67,125	77,796
前受金取崩益	48,528	-
その他	24,283	21,435
営業外収益合計	161,038	124,789
営業外費用		
支払利息	26,567	24,382
その他	1,769	6,802
営業外費用合計	28,336	31,184
経常利益	598,347	696,659
特別利益		
固定資産売却益	20,774	-
投資有価証券売却益	6,056	80,857
補助金収入	-	2,480
特別利益合計	26,831	83,337
特別損失		
固定資産除却損	94	1,704
固定資産圧縮損	-	2,480
投資有価証券売却損	618	-
特別損失合計	712	4,184
税金等調整前四半期純利益	624,466	775,812
法人税、住民税及び事業税	209,178	321,491
法人税等調整額	29,193	△14,902
法人税等合計	238,371	306,588
四半期純利益	386,094	469,223
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,753	24,854
親会社株主に帰属する四半期純利益	374,340	444,369

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	386,094	469,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,493	88,503
退職給付に係る調整額	647	△2,534
その他の包括利益合計	△33,845	85,969
四半期包括利益	352,248	555,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,467	530,295
非支配株主に係る四半期包括利益	11,781	24,897

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	624,466	775,812
減価償却費	309,832	298,797
のれん償却額	107,637	97,512
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,893	29,018
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,710	17,878
受取利息及び受取配当金	△21,100	△25,557
支払利息	26,567	24,382
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,438	△80,857
固定資産売却損益 (△は益)	△20,774	-
固定資産除却損	94	1,704
売上債権の増減額 (△は増加)	△250,722	△390,384
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△47,969	△70,388
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,961	315,475
その他	60,114	87,728
小計	789,348	1,081,122
利息及び配当金の受取額	20,724	24,884
利息の支払額	△26,110	△24,533
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△287,663	△233,923
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,298	847,550
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△183,143	△154,156
有形固定資産の売却による収入	20,805	-
無形固定資産の取得による支出	△8,114	△5,013
投資有価証券の取得による支出	△101,516	△405,326
投資有価証券の売却による収入	68,652	422,748
敷金及び保証金の差入による支出	△113,150	△3,084
敷金及び保証金の回収による収入	44,552	11,193
その他	△19,361	△204,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,276	△338,155
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	20,000
長期借入れによる収入	650,000	1,350,000
長期借入金の返済による支出	△1,716,268	△1,495,993
リース債務の返済による支出	△12,484	△16,252
配当金の支払額	△75,120	△75,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,163,874	△217,387
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△958,851	292,008
現金及び現金同等物の期首残高	7,789,797	6,253,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,830,946	6,545,111

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,580,107	3,901,925	1,402,634	94,322	16,978,990	—	16,978,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	495,372	876	496,549	△496,549	—
計	11,580,107	3,902,225	1,898,007	95,199	17,475,539	△496,549	16,978,990
セグメント利益	736,051	34,684	19,623	60,541	850,901	△385,256	465,645

(注) 1 セグメント利益の調整額△385,256千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用753,151千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,861,141	3,899,552	1,598,645	91,141	17,450,480	—	17,450,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	469,627	2,327	472,254	△472,254	—
計	11,861,141	3,899,852	2,068,272	93,468	17,922,735	△472,254	17,450,480
セグメント利益	779,749	110,740	33,863	66,084	990,438	△387,384	603,054

(注) 1 セグメント利益の調整額△387,384千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用756,812千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。